

「COD・窒素・りん汚濁排出負荷量調査票」記載要領

1 全体に共通する記載要領

・ データ

・水質汚濁防止法(以下「水濁法」といいます。)第14条第2項に基づく「記録表」の令和6年4月1日から令和7年3月31日までのデータを記載してください。

※水濁法第14条第2項・・・総量規制基準が適用されている指定地域内事業場から排水を排出する者は、環境省令で定めるところにより、当該排水の汚濁負荷量を測定し、その結果を記録し、これを保存しなければならない。

・ 水量

・小数点以下第1位を四捨五入し整数値で記載。

(例) 水量1, 234. 5m³→水量1, 235m³

・ 負荷量

・「COD、窒素」→小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記載。

(例) COD負荷量 15. 95 kg/日 → COD負荷量 16. 0 kg/日

・「りん」→小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記載。

りん負荷量 0. 015 kg/日 → りん負荷量 0. 02 kg/日

$$\text{※負荷量(kg/日)} = \text{水量(m}^3\text{/日)} \times \text{水質(mg/l)} \div 1, 000$$

2 記入欄番号ごとの記載要領

「①工場事業場名、②記入者名及び③電話番号」

・瀬戸内海環境保全特別措置法又は水濁法の申請書又は届出書の「工場又は事業場の名称」を記載。問い合わせのため「記入者名・電話番号」も記載。

(1. 各月別の排水量・負荷量について)

「④水量及び⑤負荷量」

・特定排水（工場排水、生活系排水及びこれらの処理水など事業活動その他の人の活動に使用された水であって、間接冷却水など、人為的に汚濁負荷量の増えない水を除く排水）について記載。

・1日当たりの排出量をその月単位で単純に平均した値を記載。雨水を分離できない場合、雨水を含む実測値を使用し「⑬備考」欄に推定雨水量を記載。

(測定箇所が2か所以上ある場合)

・各測定箇所の排水量・負荷量を合計し、1日毎の排水量・負荷量を求める。各月別の値は1日毎の排水量・負荷量から単純平均を記入。

(例) COD 負荷量

月／日		4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	・・・	測定回数	通常 値	最大 値
測定 か所 ごとの 負 荷 量	A	10.0	12.0	15.0	14.0	15.0	16.0	14.0	13.0	15.0	11.0	・・・	毎 日		
	B	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	・・・	1回／7日		
	C	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	・・・	1回／1月		
日負荷量		11.7	13.7	16.7	15.7	16.7	17.7	15.7	14.5	16.5	12.5	・・・		15. 1	17. 7

「⑥稼働日数」

- ・特定排出水が排出された日数を月ごとに記載。
- ・操業日でも特定排出水が排出されない日は除いてください。
- ・休日でも排水処理施設を動かす等で特定排出水が排出される日は含めてください。

(2. 項目毎の負荷量年間最大日の負荷量と水量とについて)

「⑦負荷量最大日、⑧負荷量及び⑨実測水量」

- ・年間の特定排出水の負荷量最大の「月日」、「負荷量」及び「特定排出水量」を項目
(COD、窒素、りん)ごとに記載。
- ・最大負荷量が複数ある場合は、対応する特定排出水量が少ない月日を記載。

(3. 排水量年間最大日の水量と負荷量について)

「⑩水量最大日、⑪実測水量及び⑫負荷量」

- ・年間の特定排出水の水量最大の「月日」、「特定排出水量」及び「負荷量」を記載。
- ・最大特定排出水量が複数ある場合は、対応する負荷量が多い月日を記載。

「⑬備考」(スペースが小さい場合、空いたスペースや、別紙に記載し、報告して下さい)

- ・特定排出水の水質測定で換算式を使用している場合は、換算式を記載。
- ・欠測が生じた場合は、その原因、欠測期間等を記載。
- ・施設が未稼働の場合は、その旨と、稼働予定年月を記載。
- ・それぞれの月日や前年度との比較で特に変動があった場合、その他特記した方がよいと思われる事項がある場合、その内容を記載。

事務担当

和歌山県 環境管理課 岩下

Tel:073-441-2683 Fax:073-441-2689

e-mail:e0321002@pref.wakayama.lg.jp